

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「Gの恩返し」

テーマ:「G(ゴキブリ)なのに、G(グッド)な美少女」

キャラクター

55

ストーリー

45

テーマ(設定)

55

文章力

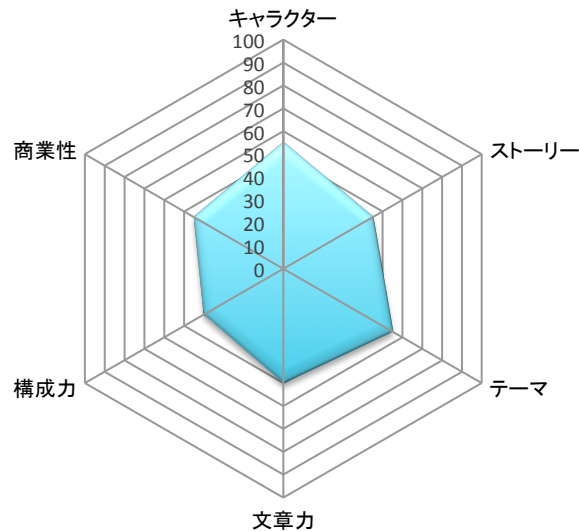
50

構成力

40

商業性

45



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・クリスの楽しげなノリが読んでいて非常に面白かった。しかし後半登場する蒜子の影響で作品自体が一気に楽しげというより固い雰囲気に変わってしまい、クリスが作り出した作品の魅力を潰してしまった感が否めない。ただ蒜子がベッドの下から這い出て来るといった描写やそのものは面白かったりするので、単純に少し組み合わせが悪かったという印象。改善案としては、少し蒜子のホラー感がガチ寄りであるため、もう少しギャグ方向に傾けたホラー感を演出できればよかったのではないかと考える。さすがに怒号をあげられると面白いというより怖い。

・Gの美少女という設定自体はとても面白いと感じる。この設定の面白さを全編通じて表現する構成にし、ストーリーの山場やクライマックスもこの設定の延長上に作る事で、より面白い作品になったのではないかと考えられる。恐らくプロットがかたまりきらない内に作品を書きはじめたかった? 基本的な文章力や描写力は明らかに平均以上であるため、ぜひその力を生かすためにもしっかりとした設計図をもとに作品を書くことが課題となってくるのではないかと感じた。(＋こすすけて誰……?)

合計加点ポイント 0

総得点: 290 / 600

B方式総合得点: 14017 点